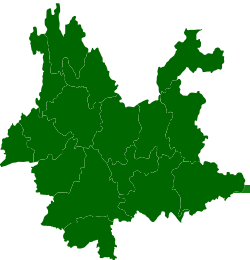




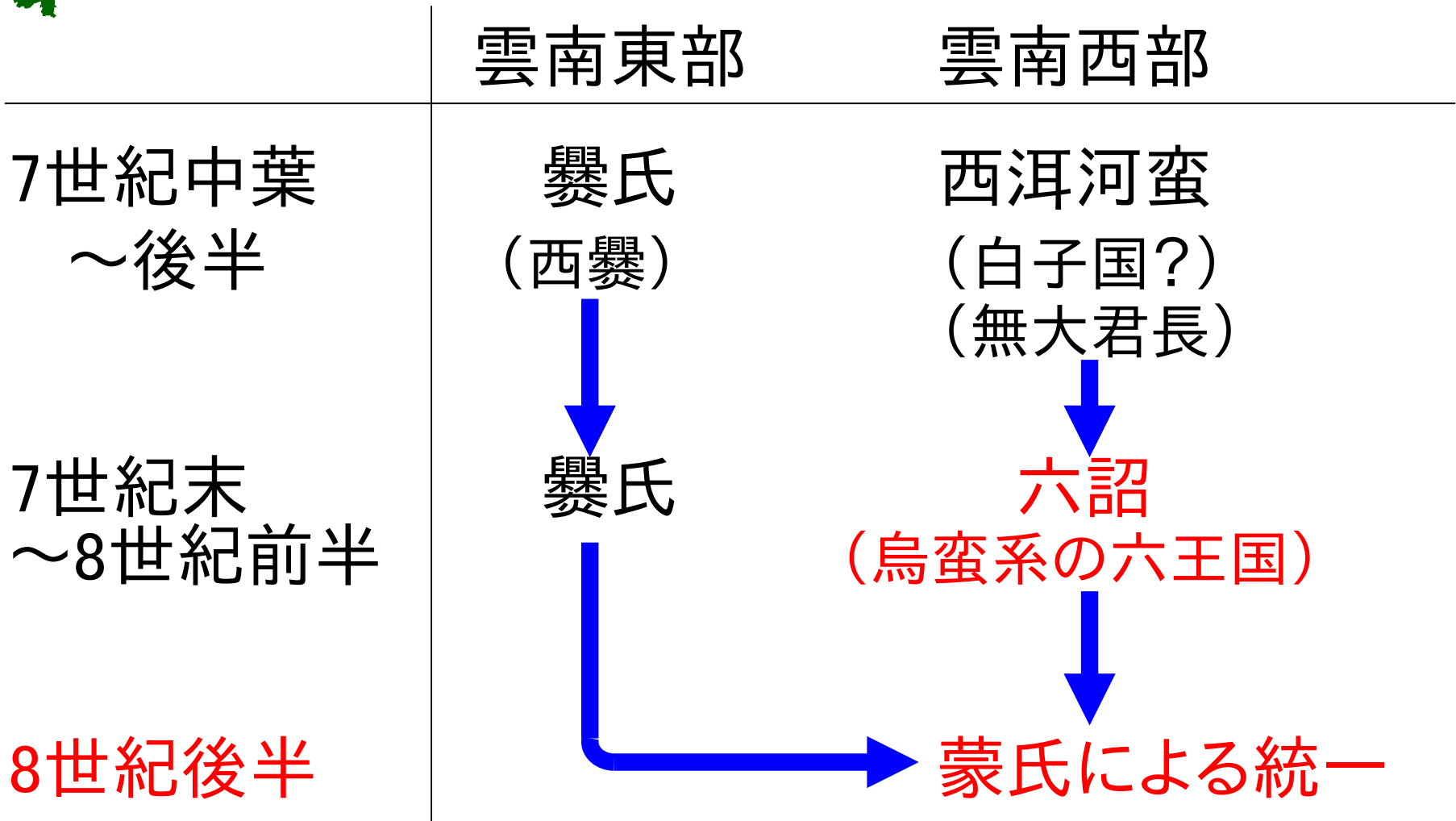
# 中国西南民族史

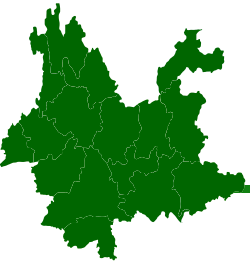
---

## 5.南詔国による雲南統一①



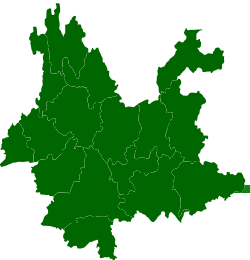
# 雲南西部に政治統合の動き





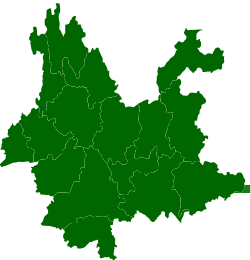
# 蒙氏の勃興

- 蒙氏 (蒙舍詔) : 最初の根拠地は**洱海の南**の蒙舍州 (**巍山盆地**)
- 高宗・武后期 : 初代細奴羅 (or 二代羅盛),  
**張氏の政権を継承** (白子国伝説による)  
= **洱海東南の祥雲・弥渡一帯に勢力拡大**
- 細奴羅 : 高宗時 / 羅盛 : 武后期に入朝  
(『蛮書』 / 『新唐書』南蛮伝)  
= **唐との良好な関係の始まり**



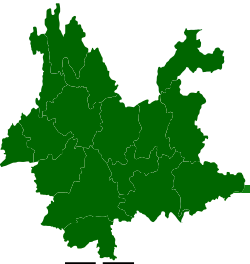
# 白子国と蒙氏の「伝説」

- 「武帝, 牟苴頌の四世孫仁果を滇王に封じる」  
牟苴頌: 天竺阿育(アショーカ)王の子孫  
哀牢夷第八族 (史料2.13)
- 「諸葛亮, 仁果の九代孫(一説に十五世孫)の  
龍佑那を酋長とし, 張姓を賜う」 (史料5.1)  
時期的には雲南民族が姓を称しはじめた時期と一致  
白崖に建寧城を築く



# 白子国と蒙氏の「伝説」

- 貞観年間(627-649) 張樂進求(尽求), 蒙氏に遜位  
鉄柱伝説: 張樂進求が臣下とともに鉄柱を祭ったところ,  
鉄柱の上の鳳が飛び立って細奴羅の肩にとまった
- 『蛮書』巻3にみえる白蛮の豪族「張尋求」との  
関係? (史料3.17)



# 洱海地区への進出

開元26(738) 皮羅閣, 河蛮を討つ (史料5.2)  
= 洱海西岸の平地への進出

- 五詔を統一 ← 唐朝の支持・軍事的援助  
(北方諸詔は吐蕃につく傾向)  
「賜姓歸義, 冊爲雲南王」

開元27(739) 太和城に居を移す  
= 洱海地区統一の完成



# 蒼山の麓から洱海を望む(2009年)





# ロープウェイで蒼山に上がる



出站口  
EXIT





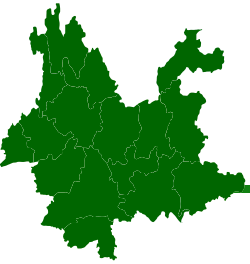
遠くに洱海が見える



  
小心路滑  
Caution: Slippery Floor







# 洱海地区統一と唐の対吐蕃戦略

開元26(738) 唐の吐蕃に対する大攻勢はじまる

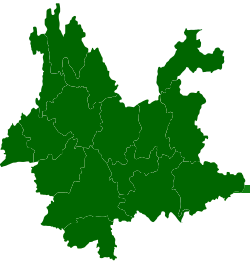
↑ (劍南・河西・隴右の三節度使が連動)

## ■ 蒙氏の洱海地区統一もこの一環

唐側:蒙氏 vs. 吐蕃側:三浪詔の「代理戦争」

## ■ 劍南では節度使王昱による安戎城攻略開始

開元28 新任の劍南節度使章仇兼瓊,  
安戎城の奪還に成功する (史料5.3)



# 滇池地区への唐朝の干渉

天宝4(745) 章仇兼瓊, 歩頭路開拓を企図



- 安寧に築城: 「群蛮騒動」唐の築城使者を殺す
  - 安寧: 昆州(昆明)の西  
現在は温泉地として有名  
この当時は製塩地としての重要性が高い  
「諸爨蛮皆食安寧井塩」 (史料5.4)



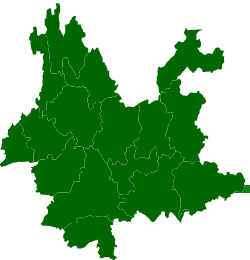
# 安寧温泉(1993)

天下第一湯

明代の文人楊慎が安寧を「天下第一湯」と称したといわれる

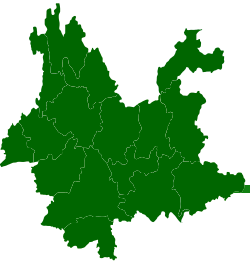
中国なので浴室は個室





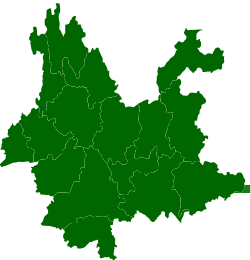
# 章仇兼瓊の保身策

- 章仇兼瓊：西川節度使となり，  
開元28(740) **安戎城を吐蕃から奪回**する  
→ 功績を時の権臣李林甫に妬まれるのを恐れる  
→ 蜀の豪商鮮于仲通に相談  
鮮于仲通は自分が養っていた楊釗(しょう)を紹介  
↑  
楊貴妃のまたいところ
- 楊釗：玄宗に取り入り，**やがて宰相にまで出世**  
(=楊国忠) (史料5.5)



# 歩頭路開発の意味

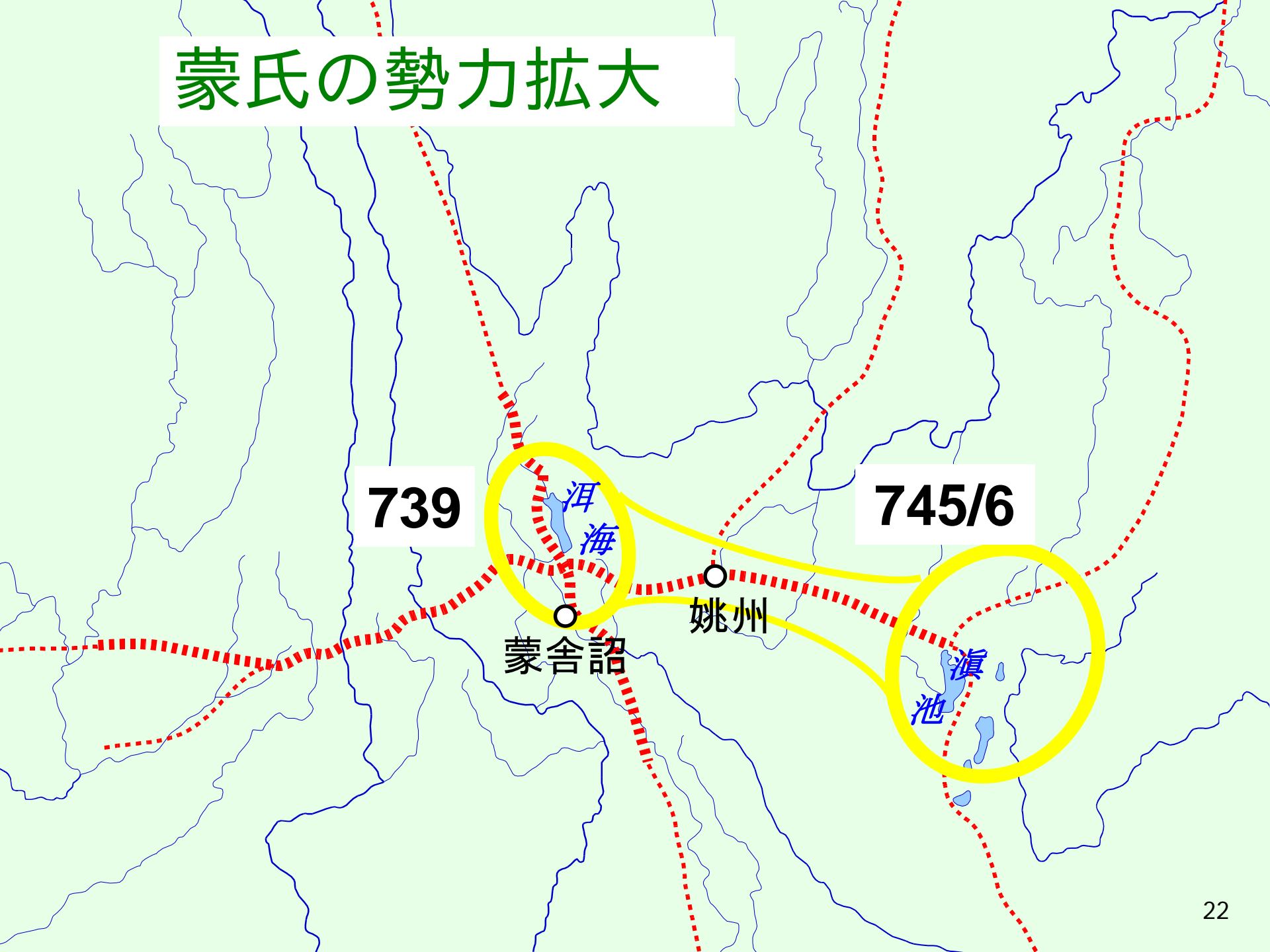
- 歩頭路＝滇池地区から南下, 元江(紅河)をくぐって交州・安南都護府(ハノイ)に出る
  - ~~章仇兼瓊の点数稼ぎ?~~
  - ~~鮮于仲通の南海物産への欲求?~~
- 姚州から東へルートを開き, 滇池地区経由で戎州(宜賓)・黔中・交州に連絡  
＝姚州と内地との連携強化策  
(清溪関路はつねに吐蕃に遮断される危険)  
(章仇兼瓊の私的な利益のためではない!)



# 蒙氏の滇池地区進出

- 玄宗, 唐に反抗する爨氏の征討を  
蒙歸義(皮羅閣)に命じる (史料5.6)  
↓
- 爨崇道, 弟の日進・爨歸王らを殺す「諸爨豪乱」  
↓
- 皮羅閣が再び介入, 爨氏勢力を壊滅させる  
= 蒙氏が滇池地区をも手中に収める

# 蒙氏の勢力拡大



739

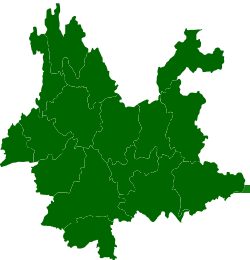
洱海

蒙舍詔

姚州

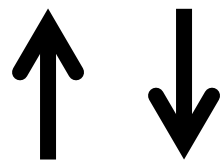
745/6

滇池

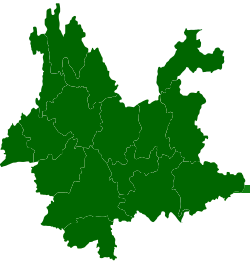


# 「勝ちすぎた」蒙氏

- 唐の歩頭路開発＝姚州都督府の  
内地との連携強化



- 蒙氏が滇池地区を手中に収めたことで、  
蒙氏の勢力内に姚州が孤立
- 唐は次第に蒙氏に対する警戒を強めはじめる



# 唐との関係悪化

天宝7(748) 皮羅閣死す。子の閣羅鳳が継ぐ

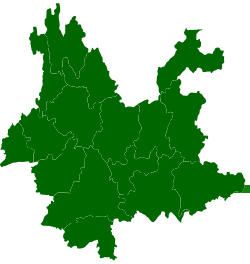
天宝9(750) 張虔陀事件 (史料5.7)

- 雲南太守(=姚州都督)張虔陀:  
表敬に訪れた閣羅鳳とその家族に横暴



- 閣羅鳳, 姚州とその周辺を陥す





# 「反唐歸蕃」

天宝10(751) 鮮于仲通, 八万の兵を率いて  
南詔を攻撃, **大敗** (史料5.8)



- **閣羅鳳は唐との関係を絶ち, 吐蕃に臣属**  
吐蕃, 閣羅鳳を「**贊普鍾 (ツァンポの弟)**」とする  
贊普鍾元年=天宝11(752)
- 太和城内に大碑を建て, 閣羅鳳がやむをえず  
唐に背いた理由を記す→『**南詔徳化碑**』

# 南詔德化碑亭(90年代)



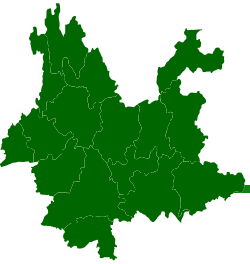


南詔德化碑亭(2009)

# 南詔徳化碑



碑陰（裏面）はまだ  
読める部分も多い



# 「天宝戦争」

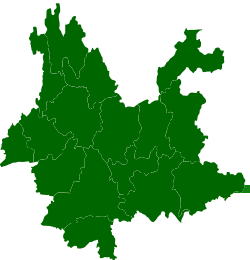
- 宰相楊国忠, 劍南節度使を遥領して対南詔国戦を主導(鮮于仲通との関係)

天宝12 左武衛大將軍何履光, 安南から南詔を討つ

天宝13 侍御史, 劍南留後李宓, 兵七万を率いて  
南詔を討ち, 大敗 (史料5.9)

楊国忠は敗戦を隠蔽して兵員を増発  
「前後死者二十万人」

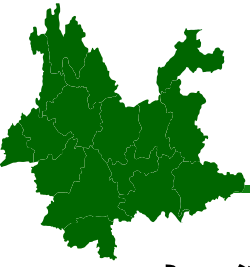
天宝14(755) 安祿山の乱勃発  
=唐の雲南経略の挫折



# 「新豊折臂翁」(白居易「新樂府」)

新豊老翁八十八，  
頭鬢眉須皆似雪。  
玄孫扶向店前行，  
左臂憑肩右臂折。  
問翁臂折來幾年，  
兼問致折何因緣。  
翁云貫屬新豊縣，  
生逢聖代無征戰。  
慣聽梨園歌管聲，  
不識旗槍与弓箭。  
**無何天宝大徵兵，**  
戸有三丁点一丁。

新豊の老翁 八十八，  
頭鬢(びん) 眉鬚(びしゅ) みな雪に似たり。  
玄孫に扶けられて店前に向かって行く，  
左臂は肩に憑り 右臂は折れたり。  
翁に問う「臂の折れしより来(このかた)幾年ぞ，」  
兼ねて問う「折るを致せしは何の因縁ぞ」と。  
翁は云う「貫は新豊県に属し，  
生まれて聖代に逢って征戦無し。  
梨園の歌管の声を聴くに慣れ，  
旗槍と弓箭とを識らず。  
何(いくばく)も無く 天宝 大いに兵を徴し，  
戸に三丁有れば 一丁を点ず。



# 「新豊折臂翁」(白居易「新樂府」)

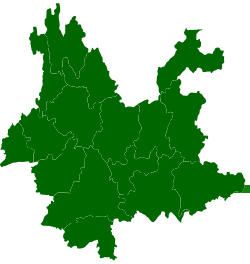
点得驅將何処去？  
五月万里雲南行。  
聞道雲南有瀘水，  
椒花落時瘴煙起。  
大軍徒涉水如湯，  
未過十人二三死。  
村南村北哭声哀，  
兒別爺娘夫別妻。  
皆云前後征蛮者，  
千万人行無一廻。

(後略)

点じ得て驅り將(もつ)て何処にか去(ゆ)く、  
五月 万里 雲南に行く。  
聞道(きくな)らく『雲南に瀘水有り、  
椒花落つる時 瘴煙起こる。  
大軍徒渉するに 水は湯の如く、  
未だ過ぎざるに 十人に二三は死す』と。  
村南 村北 哭声哀(かな)し、  
兒は爺娘(やじょう)に別れ 夫は妻に別る。  
皆云う『前後 蛮を征する者、  
千万人行きて 一の回(かえ)るもの無しと。







# 吐蕃帰属後の国内体制整備

- 閣羅鳳による周辺地域の平定：  
西部・西南部の諸民族
- 滇池地区の西爨二十万戸を永昌へ強制移民  
雲南東部の爨氏勢力を根絶

763 柘東城(昆明)を建設, 鳳伽異を置く  
(拓)

「居二詔佐鎮撫」副都の機能 (史料5.10)